



2023年8月30日

会社名 日本アジア投資株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗  
(コード番号 8518 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 上席執行役員 岸本 謙司  
TEL 03(3221)8518

## JINJI LAKE STARTUP CONTEST 2023(日本エリア) 共催のお知らせ

日本アジア投資株式会社(代表取締役社長:下村 哲朗、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、全世界で開催されるスタートアップ企業による事業計画コンテスト「JINJI LAKE STARTUP CONTEST 2023」の、日本での準決勝コンテストに、共催者として参加しましたのでお知らせいたします。



## 記

### 1. JINJI LAKE STARTUP CONTEST について

JINJI LAKE STARTUP CONTEST は、過去 11 回の開催実績を持ち中国で最も影響力のある、ワールドワイドに開催されるスタートアップを対象としたビジネスコンテストです。過去 11 回の大会で、全世界で累計 12,000 チームがエントリーしました。そのうち決勝に進出した 220 社のうち 141 社が資金調達を果たし、その総額は 3,440 億円を超えています。

数多くのスタートアップ企業が、同コンテストを通じて中国への事業進出を果たし、大きな成功を収めました。例えば、創薬ベンチャー企業である BeiGene、CStone Pharmaceuticals、Junshi Biosciences、Innovent Biologics 等は、欧米の一流大学や有名製薬会社で経験を積んだ優秀なチームが、同コンテストを機に起業し、わずか 10 年で中国を代表する創薬ベンチャーに成長しています。

### 2. JINJI LAKE STARTUP CONTEST 2023 (JAPAN) について

JINJI LAKE STARTUP CONTEST 2023 (JAPAN) は、2023 年の日本での準決勝コンテストです。中国創業人材投資センターと海外ハイレベル人材専門家会が主催し、共催者には当社の他、蘇州工業園區国際ビジネス協力センター、AIS CAPITAL 株式会社、一般社団法人日本中華総商会、EPS ホールディングス株式会社を中心とする EPS グループ、長三角国家技術創新中心、中日医薬&新材料イノベーションセンターが名を連ねます。

蘇州工業園區は、中国蘇州市において 1994 年に中国とシンガポール政府との共同プロジェクトとしてスタートしたサイエンスパークであり、中国トップクラスの産業規模を有する国家級経済開発区です。特にライフサイエンス分野に関して中国で圧倒的な No.1 の産業集積を誇ります。278 平方キロメートルのエリア内で 1800 社超のスタートアップを育成し、これまで 60 社以上の上場会社を輩出してきました。当社グループでは、2009 年に当社グループが中国蘇州市で設立したファンドに対し、蘇州工業園區が運営する基金から出資を得た経緯があります。

日本での準決勝コンテストは、多数のスタートアップを、ヘルスケア(創薬、再生医療、医療機器)、TMT(テクノロジー・メディア・通信)、エレクトロニクス(DX、AI、電子デバイスなど)、新素材、新エネルギー、クリーンテックなどの業種から募集して行われました。2023 年 8 月 25 日に東京都で開催された準決勝ピッチデーでは、その中から厳選された 13 チームが、審査員に向けて事業計画のプレゼンテーションを行い、このうち上位 6 チームが決勝に進出しました。

<コンテスト公式 URL:<http://japan1000.sandlake.com/>>



### 決勝進出チーム一覧

<p><b><a href="#">FEF 創薬株式会社</a></b> 末梢動脈疾患を対象に血管新生治療の開発を行う EPS 創健科技集团有限公司のインキュベーション・プロジェクト</p>
<p><b><a href="#">株式会社ツーセル</a></b> 間葉系幹細胞(MSC)を用いた再生医療の研究・開発を行う広島大学発ベンチャー</p>
<p><b><a href="#">株式会社セルージュン</a></b> iPS 細胞を用いて角膜内皮の代替細胞を効率的に生成する独自の技術により角膜移植課題をめざす慶應義塾大学医学部眼科学教室発ベンチャー</p>
<p><b><a href="#">桃太郎源株式会社</a></b> 岡山大学出身のコアメンバーによる岡山大学で発見されたがん治療遺伝子-REIC を基に免疫療法の抗がん新薬の開発</p>
<p><b><a href="#">BRI ファーマ株式会社</a></b> 血液を用いた認知症リスクを予測する診断技術の開発</p>
<p><b>次世代モーターシステム</b> 超高効率リラクタンズ永久磁石モーターと電子制御シリーズ製品の研究開発を中心に、最先端の低雑音技術を備え、ターミナル製品向けに電子制御設計によって最も効率的なソリューションを提供</p>

準決勝を通過した上位 6 チームは、2023 年 11 月に中国の蘇州市で開催予定の決勝コンテストに招待されます。コンテスト期間中は、蘇州工業園区の支援により、国内外 100 社以上の

有名 VC とマッチングする機会や、蘇州工業園区に在籍する 1800 社以上のバイオベンチャー企業(うち上場会社 49 社)との間で、ライセンス契約などの事業提携機会を得ることができま  
す。さらに、決勝コンテストの優勝チームには 1000 万円(約 2 億円)相当の起業補助金が、副  
賞として贈呈される予定です。

### 3. スタートアップ支援を通じた SDGs への取り組み

当社は、経営理念に基づき、投資活動を通じて SDGs に掲げられた持続  
可能な経済成長に広く貢献することを経営の重要課題と位置づけておりま  
す。スタートアップ支援を通じては、スタートアップ企業が行うイノベーショ



ンや既存事業の再活性化により、生産性の向上や労働力の補完を促進し、SDGs の目標である持  
続可能な産業化の推進、イノベーションの拡大、包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用及びディー  
セント・ワークの推進というターゲットに取り組めます。

#### 会社概要 日本アジア投資株式会社

本社所在地 東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号

代表取締役社長 下村 哲朗

URL <https://www.jaic-vc.co.jp/>



以上

#### 【お問い合わせ先】

日本アジア投資株式会社 管理グループ 丸山(ir@jaic-vc.co.jp)